

安心バンク、JAバンク。

=信頼のネットワーク・JAバンク=

JA埼玉ひびきのの現況

上半期ディスクロージャー誌

2017

平成29年4月1日～平成29年9月30日

 JA埼玉ひびきの



ちよきんぎよ®

1. 組合員と地域のみなさまとともに!!

JA埼玉ひびきのは地域社会の一員として、地域のみなさまとともに歩んでいきます。

JA埼玉ひびきのは、本庄市、児玉郡を区域として、農業者を中心とした地域住民の方々が組合員となって、相互扶助(お互いに助け合い、お互いに発展していくこと)を共通の理念として運営される協同組織であり、地域農業の活性化に資する地域金融機関です。

JA埼玉ひびきのでは、皆さまからお預かりした大切な財産である「貯金」を源泉として、資金を必要とする組合員の皆さま方や、地方公共団体などにもご利用いただいております。

JA埼玉ひびきのは、組合員の皆さまへの奉仕はもとより、地域の皆さまに様々な事業機能やサービスを提供することにより、農業や地域経済社会の健全な発展に寄与することで社会的・公共的使命を果たしてまいります。

また、JA埼玉ひびきのは、地域社会の一員としての責任を自覚し、地域の各種行事や催事等への参画やJAの社会・文化的活動をとらして、少しでも地域社会の発展や活性化のお役に立ちたいと思っています。

今後とも協同組合運動の理念である「一人は万人のために、万人は一人のために」を念頭におき、より良き地域社会人として、組合員の皆さまをはじめ地域社会の皆さまと一緒に歩んでいきたいと思っています。

トピックス

●年金友の会グラウンド・ゴルフ大会!

JA年金友の会は4月13日、「第20回グラウンド・ゴルフ大会」を神川町営グラウンドで開催し、32チーム・約174名の選手が参加しました。

当日は、強風が吹く難しいコンディションでしたが接戦の末、本郷チームが優勝しました。

同大会の上位3チームは、当JA代表として第21回埼玉県農協年金友の会グラウンド・ゴルフ大会に参加しました。



●JAにおける自己改革への取り組みを報告

JAは、9月11～15日間、管内全地区において自己改革進捗説明会をいたしました。今年度は、中期3ヶ年計画の2年度目にあたり、本年度の目標や取り組み、対応策について、説明をおこないました。

- ◎「農業者の所得増大」への挑戦
- ◎「農業生産の拡大」への挑戦
- ◎「地域の活性化」への挑戦

2. 安心のバロメーター

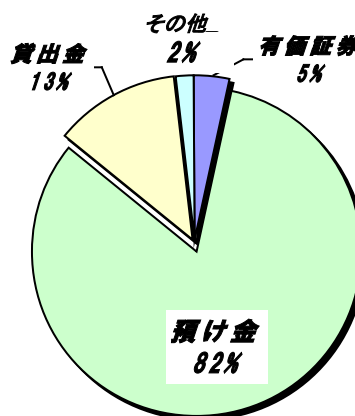
安心 その1

JA埼玉ひびきのは、地域の多くのみなさまより信頼をいただき、貯金は1,332億円です。この大切な財産を、安全性と流動性を重視して資金運用しております。

H29.9月期のJA埼玉ひびきのの運用資産構成

(単位:百万円)

	H28.9月期	H29.3月期	H29.9月期
貯金	128,233	130,948	133,257
貸出金	16,931	16,686	16,758
預け金	103,325	106,591	109,731
有価証券	5,514	5,319	4,634



《ご参考:保有有価証券の時価情報》

有価証券の時価及び評価差額に関する事項は次のとおりです。

1. 売買目的有価証券

当JAは、平成29年3月期及び平成29年9月期における売買目的有価証券の残高はありません。

2. 満期保有目的の債券で時価のあるもの

(単位:千円)

		平成29年3月期			平成29年9月期		
		貸借対照表計上額	時価	差額	貸借対照表計上額	時価	差額
時価が貸借対照表計上額を超えるもの	国債	299,458	315,570	16,111	299,508	313,520	14,011
	地方債	99,625	103,490	3,864	99,647	103,280	3,632
	金融債	3,100,000	3,111,700	11,700	2,500,000	2,507,110	7,110
	その他	—	—	—	—	—	—
	小計	3,499,083	3,530,760	31,676	2,899,156	2,923,910	24,754
時価が貸借対照表計上額を超えないもの	国債	—	—	—	—	—	—
	地方債	—	—	—	—	—	—
	金融債	—	—	—	—	—	—
	その他	—	—	—	—	—	—
	小計	—	—	—	—	—	—
合計	3,499,083	3,530,760	31,676	2,899,156	2,923,910	24,754	

注1. 時価は、9月末、期末における市場価格等に基づいております。

3. その他有価証券

(単位:千円)

		平成29年3月期			平成29年9月期		
		取得原価または償却原価	貸借対照表計上額	差 額	取得原価または償却原価	貸借対照表計上額	差 額
貸借対照表計上額が取得原価または償却原価を超えるもの	国債	910,022	972,580	62,557	910,022	982,870	72,847
	地方債	502,551	528,700	26,148	502,551	529,980	27,428
	政保債	200,000	220,860	20,860	200,000	222,880	22,880
	金融債	—	—	—	—	—	—
	小 計	1,612,574	1,722,140	109,565	1,612,574	1,735,730	123,155
貸借対照表計上額が取得原価または償却原価を超えないもの	国債	99,302	97,930	△1,372	—	—	—
	地方債	—	—	—	—	—	—
	政保債	—	—	—	—	—	—
	金融債	—	—	—	—	—	—
	小 計	—	—	—	—	—	—
合 計		1,711,877	1,820,070	108,192	1,612,574	1,735,730	123,155

注1. 貸借対照表計上額は、9月末、期末における市場価格等に基づいております。

4. 金銭の信託

当JAは、運用目的・満期保有目的・その他の金銭の信託にかかる契約はありません。

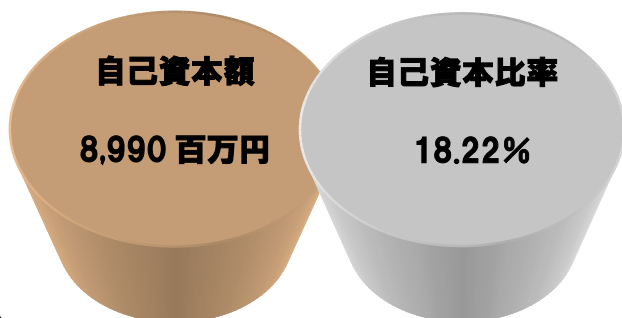
安心 その2

金融機関の経営健全性を示すバロメーター・・・自己資本比率も充分です。

JA埼玉ひびきのは、国内基準(4%)の4倍以上で、国際基準(8%)を上回る 18.22%の自己資本比率と、26億円の内部留保(特別積立金)で、安定した経営を維持しています。

H29.9月期の自己資本の状況

(単位:百万円,%)



	H29.3 月期	H29.9 月期
自己資本額	8,777	8,990
自己資本比率	17.29 %	18.22 %

H29.9月期の計数は、仮決算結果に基づき、「農業協同組合等がその経営の健全性を判断するための基準」(H18.3.28 金融庁・農林水産省告示第2号)に準拠して算出していますが、半期利益については、前年度実績の2分の1の外部流出予定額を控除して自己資本の額とし、オペレーショナルリスク相当額はH29.3月期の係数を用いて算出しています。

安心 その3

不良債権に対する備えも充分です。

JA埼玉ひびきのは、経営の透明性を高め、その健全性と安全性をご理解いただくために、金融再生法に基づく開示債権の状況を開示するとともに、不良債権に対する保全状況を開示いたします。

(単位:千円,%)

債権区分と保全状況		H29.3 月期	H29.9 月期
破産更生債権及びこれらに準ずる債権		151,674	144,029
危険債権		341,008	350,227
要管理債権		—	—
小計(A)		492,682	494,257
保全状況	上記債権の担保・保証の額(B)	412,789	418,104
	上記債権に対する貸倒引当金の額(C)	79,893	76,153
	上記債権に対する保全率(B+C)/(A)	100.0%	100.0%
正常債権		16,383,301	16,377,831
合計		16,875,983	16,872,088

注)H29.9月期の計数は、9月末の仮決算において3月期決算と同一に当JAの資産査定要領により実施した自己査定結果、並びに資産の償却・引当基準に基づき計上したものです。

【用語の説明】

- 破産更生債権及びこれらに準ずる債権・・・破産・会社更生・民事再生等の事由により、経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権です。
- 危険債権・・・債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取りができない可能性の高い債権です。
- 要管理債権・・・(1)3ヶ月以上延滞債権＝元金または利息の支払が、約定支払日の翌日を起算日として3ヶ月以上延滞している貸出金のうち、破産更生債権等及び危険債権を除いた貸出債権です。
(2)貸出条件緩和債権＝経済的困難に陥った債務者の経営再建又は支援を図り、当該債権の回収を促進すること等を目的に、債務者に有利な一定の譲歩を与える約定条件の改定等を行った貸出債権のうち、破産更生債権等、危険債権及び3ヶ月以上延滞債権を除いた貸出債権です。

JA埼玉ひびきのは、組合員の皆さまや地域のお客さまの着実な資産づくりのお手伝いをさせて頂いています。

組合員の皆さま・地域のお客さま

うち組合員数 16,397 人

※JAにおける「組合員」とは？
地区内にお住まいや勤務の方は組合員になる資格があります。また、組合員以外のお客さまへも一定の範囲内でJAのサービスをご利用頂けますので、お気軽にお声掛けください。

地域からの資金調達の状況

当JAでは、お客さまのニーズにお応えするため、懸賞品付定期貯金や公的年金お受取りの方を対象とした優遇金利定期貯金など特徴ある商品をご用意していますが、今後も新商品の開発やサービスの一層の充実に向けて努力してまいります。

貯金・積金残高

133,257 百万円

出資金

1,801
百万円

貯金・積金

133,257
百万円

地域への資金供給の状況

(貸出金に関する事項)

お客さまからお預かりした大切な貯金・積金を、資金を必要とされている組合員、地域にお住まいの方や事業者の方々へ資金を適正に供給し、農業や地域経済の活性化に寄与しています。

貸出金残高

16,758 百万円

組合員	14,685 百万円
地公体等	837 百万円
その他	130 百万円

* 制度融資の実績
農業近代化資金 2.9億円
* 農業支援融資商品
農機ハウスローン／農業資金 etc.
* 個人向けローン、事業者向け融資についても各種ご用意しています。

JA埼玉ひびきの

常勤役職員	222 名
店舗数	7 店
ATM設置台数	14 台
営農経済センター	5 店舗
ガソリンスタンド	2 店舗等

文化的・社会的貢献に関する事項 (地域との繋がり)

(1)「地域との共生」を基本理念に小さな活動から合言葉に、福祉、スポーツや地域活動等の活動を通じて文化的、社会的貢献活動を展開しています。

(2)利用者ネットワークとして、各種友の会や部会を設置し、さまざまな活動を展開しています。

(3)JAだより等の広報誌やホームページを通じて情報提供やご意見を承っていますのでご利用ください。

<http://ja-hibikino.jp/>

貸出金

支援サービス

営農支援

貸出金以外の運用に関する事項

安全性と流動性を重視した安定収益のため、JA県信連預金や国債等の有価証券で運用しています。

JA県信連等預金残高

109,731 百万円

有価証券残高

4,634 百万円

組合員の皆さま・地域のお客さま

※計数は、平成29年9月末現在です。なお、記載金額は、単位未満を切り捨てて表示しています。

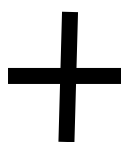
※記載内容、商品についてご質問等がございましたら、お気軽にお声掛けください。

JAバンク・セーフティネット

JAバンクは、「破綻未然防止システム」と「貯金保険制度」により「JAバンク・セーフティネット」を構築し、組合員・利用者みなさまに、より一層の「安心」をお届けしています。

破綻未然 防止システム

破綻未然防止のための
JAバンク独自の制度



貯金保険制度

貯金者の保護のための
公的な制度

身近で便利 JA店舗

本 店 TEL 0495-24-7711

本庄北支店 TEL 0495-24-1525

本庄南支店 TEL 0495-24-1535

上里支店 TEL 0495-33-0549

美里支店 TEL 0495-76-3131

児玉支店 TEL 0495-72-1244

神川支店 TEL 0495-77-2401

2017 上半期ディスクロージャー誌 平成29年11月製作
JA埼玉ひびきの（埼玉ひびきの農業協同組合）企画管理課
〒367-0030 埼玉県本庄市早稲田の杜 1-14-1
☎0495-24-7711（代表）
E-Mail soumu@hbki.st-ja.or.jp
【JAホームページ】<http://ja-hibikino.jp/>